

東北連合ニュース

2020年2月5日(水) 発行、2019年度 No.3

発行：日本バプテスト連盟・東北バプテスト連合

盛岡教会で60周年感謝礼拝 山あり谷ありの教会の歴史



10月14日(月)、盛岡バプテスト教会で「伝道開始60周年感謝礼拝」が持たれました。東北連合の諸教会など15教会から33人が集まり、総勢51人で60周年をお祝いしました。

同教会は、1959年4月、福田昌治牧師・令子夫妻によって始められ、これまで9人の牧師、1人の協力牧師によって教会形成を導かれてきました。

感謝礼拝では、「60年を振り返って」教会の歴史がひもとかれ、4代目牧師・城前和徳師(和白バプテスト教会牧師)が「御言葉に聴き、従う」と題して、心に残る説教をされました。



東北連合・教会音楽研修会

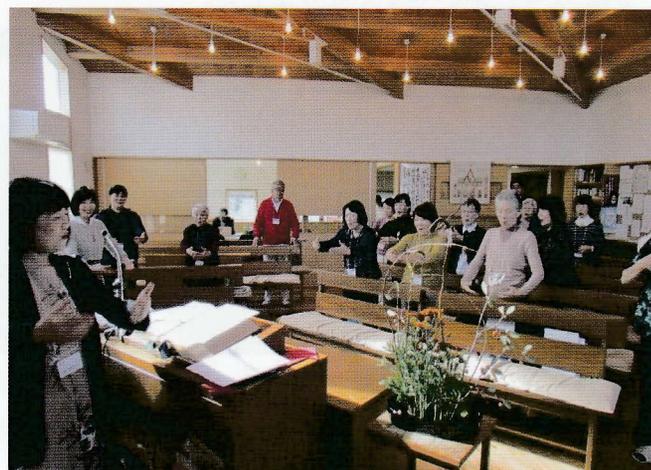
礼拝と賛美を豊かにささげるために



11月4日(月)、南光台キリスト教会に、日本バプテスト連盟・教会音楽室長の江原美歌子師を迎え、参加者30名で教会音楽研修会が行われました。新生讃美歌を歌い続け、歌い継いでゆく講師の強い使命感と、礼拝と賛美について学びたい、豊かに賛美したいという参加者の熱意のなか始まりました。

午前には、新生讃美歌の誕生、歴史、会衆賛美の変遷、意義を学び、礼拝は神からの恵みと人からの応答の対話であり、会衆賛美の重要性を確認しました。

昼食は仙台名物はらこめしを美味しくいただき、午後は体をほぐす体操、息の発声からスタートし、福音唱歌、創作賛美歌等8曲、皆で賛美しました。



作曲された時代背景、作者の境遇、神への信仰等の解説があり、歌詞を味わい感情豊かに賛美しました。質問や賛美のリクエストも積極的に述べられて、楽しい豊かな賛美溢れる研修会となりました。

(教会音楽委員 秋田教会 村上栄子)

山形教会の新会堂が竣工

12月15日から礼拝を開始

昨年6月から新会堂建築に取り組んでいた山形キリスト教会は、6カ月余りの工期を経て12月9日（月）に引き渡しを終え、新会堂が竣工しました。その後引っ越しを経て、12月15日（日）の主日礼拝から、新会堂での教会のミニストリーが始まり、喜びと感謝のうちに、22日（日）のクリスマス礼拝、24日（火）のクリスマスイヴ礼拝が執り行われました。

会堂の講壇と長椅子12脚は、青森バプテスト教会からの献品で、木造の新会堂にマッチして、落ち着いた雰囲気を醸し出してくれています。



旧会堂に比べ、会堂部分は少し横幅が広まり、広くなった感触を受けます。旧会堂の教育館部分が分級室一室となりましたが、会堂とつながったので、機能的になり、使いやすくなりました。



新会堂の礼拝堂は響きが良く、聖歌隊賛美も会衆賛美もとても元気に聞こえます。礼拝前の教会学校も、成人科分級の持ち方を移動式のクラス編成にし、活性化を考慮しています。

総工事費57,600千円余。建築献金、教会債、建築積み立て、外部からの献金（ご協力、感謝！）、連盟からの回転資金借り入れなどで調達できました。

なお、献堂式は5月23日（土）午前11時～を予定しています。
（杉山修一）

公開講座「バプテストを知る」

1月13日（月）仙台教会で開催

東北バプテスト連合壮年会が主催し、仙台地区バプテスト伝道協議会（SBD）が協力して、「公開講座『バプテストを知る』」が、1月13日（月）午前10時30分～仙台基督教会で開催され、東北連合内諸教会から47人が出席されました。



講師は東北学院大学学長・大西晴樹先生。

バプテスト教会は17世紀イギリスに発祥した教派ですが、後、迫害を逃れてアメリカに渡って、大きく成長した教派です。バプテスト教会の特徴として、①聖書主義、②キリスト中心主義、③信仰者のバプテストマ、④浸礼主義、⑤万人祭司と民主的教会運営、⑥各個教会主義、⑦政教分離の原則に、先生は⑧アソシエーション（地方連合）を加えて解説。

アメリカの南部バプテスト連盟は、教会数4万7千教会、信徒数1600万人を数え、プロテスタントでは最大の教派である。

南部バプテスト連盟の最初の日本伝道は、1889年のマッコラム宣教師夫妻、ブランソン宣教師夫妻から。1903年、日本浸礼教会西部部會が発足。戦後、1947年、16教会によって日本バプテスト連盟が結成された。仙台教会は1951年伝道開始、1955年39人の信徒で教会組織を行っている。

2000年に南部バプテスト連盟の宣教方針が保守的な色合いに変更になり、以来日本バプテスト連盟との宣教協力も疎遠になってしまっている。そのほか、信仰告白から見たバプテストの変遷についても触れられた。

1時間半の短い時間で、盛りだくさんの内容が話され、もったいない思いを抱かせられたことです。